

+

2022年

4月第3・4週の主日礼拝説教要約

・ 4月17日：マルコ福音書 16：1-8.

「墓を出す神」

・ 4月24日：ヨハネ福音書 20：24-29.

「私は信じない」

衣笠病院教会 牧師 宮原晃一郎

今朝の交読詩編42篇の最後に、「御顔こそ、わたしの救い」と記されています。さて、「御顔」という表現は、旧約聖書に65回あり、中でもその多くは、詩編に43回出てきます。新約聖書の時代よりも千年も前から詠まれていた詩の中から厳選し編纂された150篇の詩は、元来ユダヤ民族の賛美歌、兼、祈祷書としても用いられました。彼らは町や村の会堂で、頻繁に「御顔(神の～・主の～)」という言葉を目にしたり、口にしたりして言葉そのものには馴れ親しんでいたわけですが、その言葉だけが独り歩きをして、未だ誰もその「御顔」を見た者はおらず、イエスの弟子たちも含めて、心から祈り求めた者も殆どいませんでした。

ただ、ルカ福音書の記述によると、例外的に、イエスが誕生から8日が過ぎて両親に抱かれて神殿で聖別される時に、霊に導かれた義人のシメオンと、前後して、女預言者のアンナが、それぞれ幼子イエスと面会してその「御顔」を仰ぐ、という出来事がありました。祈り求める者に対する神のささやかな答えが示された場面です。これ以外にも、イエスの誕生にまつわる幾つかの出来事において、御子の「御顔」を仰いだ者たちがいたことがわかっています。

しかし、これ以降、イエスと共にいた両親以外の者たちには、イエスの「御顔」の意味が知らされていなかった可能性が高いのです。兄弟姉妹はイエスの人前での不思議な言動を狂気と受けとめ、実家に連れ帰ろうとしたほどでした。

「私を見た者は、父を見たのだ(ヨハ福音書14:9)」というイエスの言葉とはうらはらに、その言葉の真意を理解し神と人との正しい関係を願い求めた者はおらず、「御顔」を前にしても人間の不信仰の根幹が改まる道は開ざされたかに見えませんでした。

さて、死んで葬られ、よみがえったイエスと最初に出会ったマグダラのマリアはイエスの「御顔」を仰いで、「ラボニ(先生)」と口走り、イエスにすがりついたことが、ヨハネ福音書の20章16節に記されています。その後、弟子たちの前にもイエスは姿を見せますが、彼らはただた恐れ慄くばかりで、主なる神の独り子の「御顔」を正視することができません。戸惑いの日々は、ひきつづき、そのまま描写されます。この神を咎め諫める者はもう、どこにもおりません。

逆に、それまでの弟子たちの不従順は、もう取り返しのつかぬ過去の

事実として、「御顔」の前に確定しています。また両者の関係のずれを何事も起こらなかったこととして、覆い隠す術は誰も持ち合わせておりません。

そんな弟子たちに対して復活した神キリストは、一方的に語りはじめます、「あなたがたに平安あれ」。相手は見るからに、平安のかけらもない弟子たちでした。

主が御顔をあなたに向けて、あなたに平安をたまわるように。

(民数記6：26)

さて八日の後、主との再開を果せぬままの一人の弟子が、その他の弟子たちと一緒にいるときに、イエスが再び姿を見せます。そして、一週間前と同じ言葉を、彼らは聞くのです、「あなたがたに平安あれ」。その一人の弟子は、磔刑死したイエスの復活などありえないと真っ向から否定していたトマスです。彼が求めたのは「御顔」ではなく、イエスの切り刻まれた体の致命傷の跡です。その傷跡こそが、イエスの死を確定する証拠となり、その満身創痍の姿で生き返る人間などいるはずがないという主張を繰り返していたようです。

実は最初に、その他の弟子たちの前に姿を現した時のイエスも、彼らの前で「手と脇腹(の傷跡)をお見せになった」ことが記されており、トマスだけが疑い深かったわけではないことが、福音書には記されていたのです。つまりイエスは前後して同じことをしていたのです。弟子たちが「御顔」を仰ぐだけで充分であったにも関わらず。

ここにも例外なく1世紀のユダヤ人の根強い不信仰の姿が、見え隠れしていたのです。花婿が来ても断食を止めず、笛を吹いても踊らない彼らの性分が最後に改まる時、弟子たちが「新しいイスラエル」にふさわしく悔い改めて世界に向かって福音を宣べ伝える時は、まだ来ていないのです。

もし、神と人のその後の歴史が、どこにも記されることがなかったならば、イエスは、過去の偉人の一人に数えられることもなかったでしょう。イエスが神話の世界から出現して、神話の世界(=天)に帰っていたならば。

その後、やっと生まれ変わった弟子たちの血のにじむ努力が記されてこそ、これにともない歴史も動くのです。聖霊降臨から始まる新しい

時代こそ、今日のキリスト者が生き続けている時代なのです。主が再び御顔を向けて私たちに平安を賜る、その時を、これからも、待ち望みたいとおもいます。